

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	論理国語
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	『新編論理国語』(大修館)
2	必修	2	70	補助教材	『新編論理国語 学習ノート』(大修館)
授業の概要		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的・的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
求められる力 (目指す生徒像)		目標を持ち、自らの意思で前向きに取り組むことができる。 与えられた課題や宿題などに進んで取り組み、不明な点を調べて解決できる。			

観点別評価(%)						
	授業姿勢	活動評価	単元ワーク	課題提出		合計
知識・技能		20	20	60		100
思考・判断・表現		30	30	40		100
主体的に学習に取り組む態度	40	30	30			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	「論理」への第一歩	【読むこと】指示語の役割		○	○
	具体と抽象の関係	【読むこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
5月	突然変異と進化の関係	【読むこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
	ウサギの耳はなぜ長い?	【読むこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
6月	具体と抽象を使いこなそう	【読むこと】・【書くこと】具体と抽象を区別し、使い分ける。	○	○	
	根拠をふまえて主張を書こう	【書くこと】論理的に書く①		○	○
7・8月	比べて説明する	【読むこと】・【書くこと】対比をとらえる	○	○	
	米の種類と食文化	【読むこと】対比をとらえる	○	○	
	対話の精神	【読むこと】対比をとらえる	○	○	
9月	対比を使って主張する	【書くこと】対比を使って主張する		○	○
	主張と根拠を考える	【書くこと】小論文②		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	文化としての科学	【読むこと】筆者の主張とその根拠を読み解く。	○	○	
	人工の自然	【読むこと】筆者の主張とその根拠を読み解く。	○	○	
11月	要約の方法	【読むこと】・【書くこと】筆者の主張とその根拠を読み解く		○	○
	文章と資料を関連づけて読む	【読むこと】統計資料を活用する。	○	○	
12・1月	量の時代から質の時代へ	【読むこと】統計資料を元を読み解く。	○	○	
	統計資料を活用しよう	【読むこと】・【書くこと】統計資料を基に主張する。		○	○
2月	テーマを決め、問いを立てよう	【書くこと】小論文③			
	情報を比較・整理する	【読むこと】比べて読む	○	○	
3月	「言葉の揺れ」を認めるか	【読むこと】情報を比較・整理する	○	○	
	紙の本はなくなるらない	【読むこと】情報を比較・整理する	○	○	
	比べて読もう	【読むこと】・【書くこと】情報を比較し、主張につなげる		○	○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	文学国語
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	大修館書店『新編文学国語』[文国705]
2	必修	2	70	補助教材	『新編文学国語 学習ノート』
授業の概要		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
求められる力 (目指す生徒像)		漢字の読み・書きや基本的な語彙の理解をした上で音読できる力、発問等を正確に聴き取り適切な受け応えをする力、ノートやプリント作成などの作業に集中して取り組む力を身につける。			

観点別評価(%)								
	授業姿勢	活動観察	小テスト	単元ワーク	単元テスト	課題提出	定期試験	合計
知識・技能			25		25		50	100
思考・判断・表現				20	10	20	50	100
主体的に学習に取り組む態度	20	20		10		50		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	文学の扉を開こう	文学的な文章の特徴を知る	○		○
	明日をひらく 『そとみとなかみ』	随筆の特徴を知る		○	○
5月	小説を楽しむ 『ナイン』	小説の特徴を知り、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について理解する		○	○
6月	古典の世界1 『星取り』	古典文法を理解し、我が国の言語文化の特質について理解を深める。	○		○
7・8月	古典の世界1 『見の飴食ひたること』	古文の読解を通して、場面の設定や話の展開を正しく理解する。		○	○
9月	詩を味わう 『道程』 『永訣の朝』	詩の種類や特徴について理解を深め、読み味わう。		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	名作を読む 『山月記』	小説の読み方を確認し、場面と心情の変化を読み味わう。		○	○
11月	古典の世界2 『竹取物語』	本文を正しく読解し、古典における文学史を理解する。	○		○
12・1月	社会に生きる 『鞆』	寓意について理解し、ジグソー法を用いて、読みを深める。		○	○
2月	古典の世界3 『行く河の流れ』	三大随筆について理解し、文章に込められた無常観について読み取る。		○	○
3月	読書の広場 『鉄道員』	ポップ作りを通して、読書に親しむ態度を養う。	○		○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		地理歴史		科目名	地理総合
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	高校生の地理総合(帝国書院)
2	必修	2	70		新詳高等地図(帝国書院)
授業の概要		地誌を通し社会的事象の地理的な見方・考え方を基礎・基本を学ぶ中で養い、課題を追究・解決する活動をしていく。あわせて公民としての資質・能力を育成するため、時事的な課題の探究も行う。			
学習到達目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、基礎・基本的内容を身につけ課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育成する。			
求められる力(目指す生徒像)		日本や世界の地理の基礎的・基本的事項について、理解したことを副教材や資料などをもとに書く・話すことで表現できる。			

観点別評価(%)

	定期試験	提出物	授業姿勢	授業姿勢		合計
知識・技能	80	20				100
思考・判断・表現	70	20	10			100
主体的に学習に取り組む態度		30	30	40		100

年間学習計画(前期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	らえる現代世界 (地誌:中学校の復習) 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 2節 地図と地理情報システム	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
5月	2章 結びつきを強める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
6月	第2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
7・8月	3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
9月	3節 多様な生活文化と地理的環境 ・東アジア ・東南アジア ・インド ・中央アジア ・西アジアと北アフリカ	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○

年間学習計画(後期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	・サハラ以南の南アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アメリカ合衆国	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
11月	・ラテンアメリカ ・オセアニア 2章 全球的課題と国際協力 1節 人口問題	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
12・1月	2節 食糧問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
2月	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
3月	2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		公民		科目名	公共
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	『公共』(実教出版)
2	必修	2	70	補助教材	なし
授業の概要		基本事項をしっかりと理解するとともに、現実の社会の出来事を原理・原則と比較して理解した上で、懐疑的な見方ができる能力をつけさせる。新聞なども活用し、単元テストを実施する。			
学習到達目標		倫理分野では自己を見つめ、他者との関わり方を、STなどと関連づけながら考えを深める機会を持つ。政治経済分野では参政権を持つ公民として時事的問題に目を向け、主体的に理想や理論・価値観の構築ができる。			
求められる力(目指す生徒像)		自己のあり方について考えを深める。基礎的な用語などを理解することができ、ニュース(新聞・テレビ・ラジオ)に興味を持って接することができる。			

観点別評価(%)							
	授業姿勢	課題提出	活動評価	単元テスト			合計
知識・技能		50		50			100
思考・判断・表現		50	50				100
主体的に学習に取り組む態度	50		50				100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	1 公共の雇(倫理分野) (1) 社会を作る私たち (2) 人間としてよく生きる	ワークシート 講義を聞くこと		○	○
		グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
5月	(3) 他者とともに生きる (4) 民主社会の倫理(政治分野) (5) 民主国家における基本原理	ワークシート 講義を聞くこと プレゼンテーション グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
6月	2 よりよい社会の形成に参加する私たち(政治分野) ・現代の民主政治と日本国憲法 (1) 日本国憲法の基本的性格 1~3	ワークシート 講義を聞くこと グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
7・8月	(1) 日本国憲法の基本的性格 4~5	ワークシート 講義を聞くこと プレゼンテーション グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
9月	(1) 日本国憲法の基本的性格 6~9	ワークシート 講義を聞くこと グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	(2) 日本の政治機構と政治参加	ワークシート 講義を聞くこと グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
11月	・現代の経済社会(経済分野) (1) 現代の経済社会 1~7	ワークシート 講義を聞くこと プレゼンテーション グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
12・1月	(1) 現代の経済社会 8~11 (2) 日本経済の特質と国民生活 1~5	ワークシート 講義を聞くこと グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
2月	(2) 日本経済の特質と国民生活 6~10	ワークシート 講義を聞くこと グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○
3月	アクティブ ⑤~⑦	ワークシート 講義を聞くこと プレゼンテーション グループワークに参加すること 単元テスト	○	○	○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		数学		科目名	数学Ⅱ
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学Ⅱ (数研出版)
2	必修	4	140	補助教材	3ROUND 数学Ⅱ+B (数研出版)
授業の概要		2,3学年を通して、数学Ⅱの全範囲を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。			
学習到達目標		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。			
求められる力 (目指す生徒像)		数学Ⅱの学習を通して解析学の初歩を学ぶ。高次方程式や様々な関数について、基本的な定理や公式を理解し、活用することを目指す。あらゆる関数を使いこなす探究心、ノートやプリント演習などの作業に集中して取り組む主体性を身につける。			

観点別評価 (%)

	単元テスト	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入		合計
知識・技能	80	20					100
思考・判断・表現	60		20		20		100
主体的に学習に取り組む態度		10	30	30	30		100

年間学習計画 (前期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	第1章 式と証明 第1節 式と計算 1. 多項式の乗法と因数分解	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・多項式、分数式の計算ができる	○		○	
	2. 2項定理 3. 多項式の割り算 小テスト(多項式の乗法と除法)		○		○	
	4. 分数式の乗法・除法 5. 分数式の加法・減法		○		○	
	6. 恒等式 単元テスト(式と計算)		○	○		
	第2節 等式・不等式の証明 7. 等式の証明 8. 不等式の証明 小テスト(等式・不等式の証明)		○	○	○	
6月	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1. 複素数 2. 2次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係 小テスト(複素数と2次方程式)	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・複素数の範囲で2次方程式が解ける	○	○	○	
			○		○	
			○		○	
7・8月	第2節 高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式の解法 単元テスト(高次方程式)	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・高次方程式が解ける	○	○	○	
			○		○	
9月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1. 直線上の点	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・直線の式が求められる ・円の式が求められる	○		○	
	2. 平面上の点 3. 直線の方程式		○		○	
	4. 2直線の平行と垂直 小テスト(直線の方程式)		○	○	○	
	第2節 円		○	○	○	
	5. 円の方程式		○	○	○	

年間学習計画 (後期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	6. 円と直線 単元テスト(直線と円)	・円の式が求められる		○	○
	第3節 軌跡と領域 7. 軌跡		○	○	○
	8. 不等式の表す領域		○	○	○
11月	9. 連立不等式と領域 単元テスト(領域)	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・軌跡や領域について理解する	○	○	○
	第4章 三角関数 第1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 小テスト(一般角と弧度法)		○		○
12・1月	3. 三角関数	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・一般角・弧度法を理解する ・三角関数を含む方程式・不等式が解ける	○	○	○
	4. 三角関数のグラフ		○	○	
2月	5. 三角関数を含む方程式・不等式 単元テスト(三角関数)	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・加法定理を理解する	○	○	○
	第2節 加法定理 6. 加法定理		○	○	○
	7. 加法定理の応用		○	○	○
3月	8. 三角関数の合成 単元テスト(加法定理)	・説明、板書、問題演習 学び合いによる演習、振り返り ・指数を理解し、計算ができる	○	○	○
	第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ 小テスト(指数法則)		○	○	○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	化学基礎
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	改訂版 高等学校 化学基礎 CHEMISTRY 数研出版
2	必修	3	105	補助教材	三訂版 リードLightノート 化学基礎 数研出版
授業の概要		教科書・問題集を中心に、実験・実習、小テストを行う。単元ごとに小テストを実施する。			
学習到達目標		日常生活や社会との関連を回りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
求められる力 (目指す生徒像)		物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方が身に付いている。			

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	課題提出	授業姿勢			合計
知識・技能	60	30	10				100
思考・判断・表現	60	30	10				100
主体的に学習に取り組む態度		20	30	50			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1章 物質の構成	一斉授業	○		
	純物質と混合物、物質とその成分、	グループ学習		○	○
	物質の三態と熱運動	ワーク演習	○		
5月	第2章 物質の構成粒子	一斉授業	○		
	原子とその構造、イオン、周期表	グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
6月	第3章 粒子の結合	一斉授業	○		
	イオン結合とイオン結晶、共有結合と分子	グループ学習		○	○
	分子間にはたらく力、高分子化合物	ワーク演習	○		
7・8月	第3章 粒子の結合	一斉授業	○		
	共有結合の結晶	グループ学習		○	○
	金属結合と金属結晶	ワーク演習	○		
9月	第1章 物質量と化学反応式	一斉授業	○		
	原子量・分子量・式量	グループ学習		○	○
	物質量	ワーク演習	○		

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第1章 物質量と化学反応式	一斉授業	○		
	物質量、溶液の濃度	グループ学習		○	○
	化学反応式と物質量	ワーク演習	○		
11月	第1章 物質量と化学反応式	一斉授業	○		
	化学反応式と物質量	グループ学習		○	○
	第2章 酸と塩基の反応 酸・塩基	ワーク演習	○		
12・1月	第2章 酸と塩基の反応	一斉授業	○		
	水素イオン濃度とpH、	グループ学習		○	○
	中和反応と塩、中和滴定	ワーク演習	○		
2月	第3章 酸化還元反応	一斉授業	○		
	酸化と還元、酸化剤と還元剤	グループ学習		○	○
		ワーク演習	○		
3月	第3章 酸化還元反応	一斉授業	○		
	金属の酸化還元反応	グループ学習		○	○
	酸化還元反応の利用	ワーク演習	○		

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	体育
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
2	必修	2	70	補助教材	
授業の概要	様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。 各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける				
学習到達目標	各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組みることができる。 自主的・自律的に集団行動をとることができる。				
求められる力 (目指す生徒像)	集団行動を円滑に進めるためのコミュニケーション力や自己理解・他者理解。 質の高いグループ学習を進めるための協働力。				

観点別評価(%)						
	活動観察	スキルテスト	ノート記入	グループ学習		合計
知識・技能	30	40	20	10		100
思考・判断・表現	30		40	30		100
主体的に学習に取り組む態度	30		30	40		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	○オリエンテーション ○体づくり運動 ○集団行動	ペアワーク・グループワーク ワークシート		○ ○	○ ○
5月	○新体力テスト ○陸上競技 I (短距離走、長距離走)	ペアワーク・グループワーク スキルテスト 記録会	○	○ ○	○ ○ ○
6月	○ダンス (現代的なリズムのダンス)	グループワーク・ディスカッション ワークシート 発表会	○	○ ○	○ ○
7・8月	○選択 I ・陸上(走幅跳/砲丸) ・器械運動(マット)	ペアワーク・グループワーク スキルテスト 記録会	○	○	○
9月	○選択 II 球技(サッカー・バドミントン・テニス・卓球) 武道(柔道)	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10・11月	○選択 III 球技(バレーボール・バスケットボール バドミントン・卓球)	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○ ○
12月	○体育理論 スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術	グループワーク・ディスカッション ワークシート	○	○ ○	○
1~3月	○選択 IV クロスカントリースキー 球技(バスケットボール バドミントン・卓球)	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○	○ ○	○ ○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	保健
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
2	必修	1	35	補助教材	現代高等保健体育ノート
授業の概要	生涯の各段階における健康についての課題やわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用できるようにする。社会生活における健康の保持増進について、社会環境作りを推進していくことが必要であることを理解する。				
学習到達目標	各ライフステージにおける課題を理解し、より健康な生活を送る方策を考えることができる。社会環境作りの中で、自分自身ができることを理解することができる。				
求められる力(目指す生徒像)	自他の健康について、主体的な関わりができる力と探究的な姿勢。グループ学習等を通して、協働力を高める。				

観点別評価(%)							
	小テスト	グループ学習	課題提出	授業姿勢	ノート記入		合計
知識・技能	50		30		20		100
思考・判断・表現		20	40	20	20		100
主体的に学習に取り組む態度	20	20	10	20	30		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	4単元 健康を支える環境づくり 01大気汚染と健康 02水質汚濁、土壌汚染と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
5月	4単元 健康を支える環境づくり 03環境と健康にかかわる対策 04ごみの処理と下水道の整備	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
6月	3単元 生涯を通じる健康 01ライフステージと健康 02思春期と健康 03性意識と性行動の選択 ※交通安全講話	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
7・8月	3単元 生涯を通じる健康 04妊娠・出産と健康 05避妊法と人工妊娠中絶 ※保健講話	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
9月	3単元 生涯を通じる健康 06結婚生活と健康 07中高年期と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	3単元 生涯を通じる健康 08働くことと健康 09労働災害と健康 10健康的な職業生活	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
11月	4単元 健康を支える環境づくり 05食品の安全性 06食品衛生にかかわる活動 07保健サービスとその活用	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
12・1月	4単元 健康を支える環境づくり 08医療サービスとその活用 09医薬品の制度とその活用	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○	○ ○
2・3月	4単元 健康を支える環境づくり 10さまざまな保健活動や社会的対策 11健康に関する環境づくりと社会参加	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		芸術		科目名	音楽Ⅱ
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	音楽Ⅱ Tutti+
2	選択	2	70	補助教材	MUSIC NOTE
授業の概要		音楽Ⅰの学習成果を踏まえ、個性豊かな音楽表現を創意工夫するための必要となる技能を身につける。文化的・歴史的背景や音楽の多様性について理解を深め、より広い視野で音楽を捉える。主体的・協働的な活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。			
学習到達目標		音楽Ⅰの学習内容を基盤として、音楽諸活動の質を高め、音楽的な見方・考え方を働かせながら、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とより深く関わる関わる資質・能力を育てる。			
求められる力 (目指す生徒像)		1 音楽の諸活動において、様々な規模・形態の表現活動を取り入れ、自分の目指す音楽表現をするための課題を主体的に解決できる。 2 一人一人が音楽について思考・判断したことを、音楽以外も含めた様々な方法で表現できる。			

観点別評価(%)						
	技能試験	課題提出	活動評価	ポートフォリオ		合計
知識・技能	60	30		10		100
思考・判断・表現	40	30	20	10		100
主体的に学習に取り組む態度		40	50	10		100

年間学習計画(前期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	○歌唱(響かせよう・聴きくらべよう) (二部合唱)HumWith Me..ほか ○楽典・聴音	・ハーモニーづくり(発声・音程など) ・楽曲分析 ・音楽のつくりや構成を理解	○ ○ ○	○ ○	○ ○
5月	○鍵盤楽器の音楽	・鍵盤楽器の種類と発展 ・ソロとアンサンブル演奏	○	○	○
6月		・さまざまな音楽ジャンルから、演奏法を習得 ・複数パートでの演奏の仕方	○	○	○
7・8月	○世界の名曲プレゼンテーション (アメリカ・アジア・西欧・東欧・北 欧・ロシア など)	・楽曲の構造や歴史的・文化的背景の学習 ・地域性や歴史と特徴を関連付けてプレゼン ・各発表における意見交流	○ ○	○ ○	○ ○
9月			○	○	○

年間学習計画(後期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	○器楽 (文化箏、カンカラ三線)	・歴史的背景 ・音色の工夫と奏法の習得 ・アンサンブルでの演奏	○	○	○
11月	○リコーダーアンサンブル	・音域の異なるリコーダーで、演奏表現の幅を拡げる ・それぞれの役割を理解し、互いを意識しながら演奏する	○	○	○
12・1月	○歌唱 (合唱)	・選曲、役割分担 ・表現の工夫 ・効果的な練習方法		○ ○ ○	○
2月					
3月		・発表	○		

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		芸術		科目名	書道Ⅱ
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	『書道Ⅱ』(光村図書)
2	選択	2	70	補助教材	『高校硬筆練習帳』(大修館書店)
授業の概要	「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」、篆刻・実用書(硬筆)における表現力を偏りなく身に付ける。また、鑑賞を通して書の美について考えを深める。				
学習到達目標	1 書の表現の多様性について理解を深め、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 2 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く				
求められる力(目指す生徒像)	筆の機能を理解して古典の特徴(線質・字形等)を紙面に表現できる。 古典の特徴を生かし、自分の考えや思いを表現をすることができる。				

観点別評価(%)						
	授業姿勢	課題提出	活動評価			合計
知識・技能		70	30			100
思考・判断・表現		70	30			100
主体的に学習に取り組む態度	100					100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	書体の変遷	書体の変遷について学習し、書体の個人的な点を理解する。	○	○	
5月	篆書の学習	篆書の筆運びの用筆について、動画やプリントを用いて理解を深める。	○	○	
	泰山刻石の臨書 石鼓文の臨書	泰山刻石の臨書を通してよさや美しさを考える。 石鼓文の臨書を通してよさや美しさを考える。	○	○	○
6月	隷書の学習	隷書の筆運びの用筆について、動画やプリントを用いて理解を深める。	○	○	
	古隷の学習・臨書	臨書を通して、古隷の用筆や大らかな字形を捉える。	○	○	
7・8月	木簡の学習・臨書	木簡の用筆について動画やプリントを用いて理解を深め、臨書する。		○	○
9月	木簡を用いた漢字仮名交じり書制作	木簡の用筆やリズムを活かし、漢字と仮名の調和を求め、創作する。	○	○	

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	王羲之の系譜を学ぶ	王羲之の書が後世に与えた影響を学び、レポートにまとめる。		○	○
11月	楷書の学習(楽毅論)	楷書の筆運びとリズムについて理解を深める。	○	○	
12・1月	仮名の学習(百人一首を書く)	仮名の用筆を活かし、百人一首を制作する。		○	○
2月	漢字仮名交じりの書の制作	木簡を用いて制作することによって、漢字仮名交じりの書を制作する。	○	○	○
3月	学年終了制作	書く言葉、用具用材を自身で決め、終了制作をする。	○	○	○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名	外国語		科目名	英語コミュニケーションⅡ	
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ (東京書籍)
2	必修	4	140	補助教材	eラーニング 以下(1)(2)ハーフ版 (1)英単語&リスニング (2)初級英語・基礎
授業の概要 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。					
学習到達目標 年度始めはCEFR(セファール)A1レベル初級からスタート(内容理解の支援をしながら)、最終的にはCEFR A1 定着レベル(概ね英検3級じゅうぶんに合格可能なレベル)を目標とする。					
求められる力(目指す生徒像) 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報の概要や要点を目的に応じて捉えることができる。また、基本的な語句を用いて情報や考えを論理性に注意して伝えることができる。					

観点別評価(%)							
	提出物	小テスト	Pテスト	授業姿勢	定期試験		合計
知識・技能	20	30			50		100
思考・判断・表現			30	20	50		100
主体的に学習に取り組む態度	30	20	20	30			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	*(参考)基礎力診断テスト オリエンテーション Lesson 1 A Colorful Island ★Chromebookを用いた活動	Can-Doリスト配布			
		内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動		○	○
5月	Lesson 2 With the Beatles ★インプットの確認活動(1)	内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動		○	○
		小テスト	○		○
6月	前期中間試験 Lesson 3 Wild Men ★Chromebookを用いた活動	ハーフテスト(Pテスト)		○	○
		定期試験(含 リスニング)	○	○	
7・8月	Lesson 4 Little Hero ★インプットの確認活動(2)	内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動		○	○
		小テスト	○		○
9月	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	ハーフテスト(Pテスト)		○	○
		定期試験(含 リスニング)	○	○	
		内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動		○	○
		eラーニング 活動～教材(2)初級英語トレーニング		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	★Chromebookを用いた活動 Lesson 6 Seeds for Future Generations ★インプットの確認活動(3)	eラーニング 活動～教材(1)英熟語テスト	○		○
		内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動		○	○
11月	後期中間試験 Lesson 7 Over the Wall	小テスト	○		○
		ハーフテスト(Pテスト)		○	○
12・1月	★Chromebookを用いた活動 Lesson 8 Inspiration from Nature ★インプットの確認活動(4)	定期試験(含 リスニング)	○	○	
		内容理解活動[ワークシート使用] 音読・リスニング活動		○	○
2月	後期期末試験 Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	eラーニング 活動～教材(1)英熟語テスト	○		○
		小テスト	○		○
3月	Lesson 9 つづき 一年間のまとめ	eラーニング 活動～教材(2)初級英語トレーニング		○	○
		内容理解・調べ学習・意見交換		○	○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		家庭		科目名	家庭基礎
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	Survive!!高等学校 家庭基礎(教育図書)
2	必修	2	70	補助教材	Survive!!高等学校 家庭基礎ワークシート(教育図書)
授業の概要		人の一生を生涯発達の視点でとらえ、生活者として必要な知識や技術を習得し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。			
学習到達目標		人が生きていく上で必要な「生活」に関わるさまざまな事象に関心を持ち、生活課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるか考える態度を養い、充実した生活のための知識を定着させる。			
求められる力 (目指す生徒像)		よりよい充実した生活や生き方ができるような知識や技術、思考力を養い、実生活に的確に活かすことができる。			

観点別評価(%)

	定期試験	課題提出	授業姿勢	作品実技			合計
知識・技能	60	40					100
思考・判断・表現	40	30		30			100
主体的に学習に取り組む態度			100				100

年間学習計画(前期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	8章 青年期・家族	・自分を見つめる		○	○
		・現代の家族 ・家庭生活の成り立ち	○		○
5月	5章 子どもの保育	・家族と法律	○		○
		・子どもの発達 ・子どもの遊び	○	○	○
6月	(中間考査) 6章 高齢者の生活	・子どもの生活・大人の役割 ・子育て環境・子育て支援	○		○
		・高齢者を理解する ・高齢者の生活を支える仕組み	○	○	○
7・8月	2章 衣生活	・人と衣服 衣服の表示	○		○
		・衣服素材の性能と着心地 ・衣服の手入れ・管理	○		○
9月		・被服実習	○	○	○

年間学習計画(後期)

時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第3章 食生活	・食品と栄養素 ・食品の選択・保存、安全な取り扱い ・献立作成	○		○
		・調理の基礎 ・調理実習	○	○	○
12・1月	第1章 消費生活・環境	・成年年齢の引き下げ ・契約者と消費者トラブル	○		○
2月		・消費者の権利と責任 ・消費者の意思決定 ・生活費と家計	○		○
		・ライフスタイルとすまい ・衛生的な住まい	○		○
3月	第4章 住生活	・ライフスタイルとすまい ・衛生的な住まい	○		○

令和8年度 シラバス・年間学習計画

教科名		総合		科目名	ベーシックスタディⅡ
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	
2	必修	1	35	補助教材	デジタル教材「すらら」・『漢字ボックス』
授業の概要		ベーシックスタディⅡに引き続き、主要5教科について義務教育段階の学び直しを行うとともに、高等学校での教科・科目の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。			
学習到達目標		英語の基本的な文章を用いて簡単なやりとりができる。分数や小数を含んだ基本的な計算方法を理解し、計算することができる。理科、社会の基本的知識を学び直し、高校教科の学習に活用することができる。文章の成り立ちを理解し、相手に伝わる文章を作成することができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		家庭学習習慣を身に付け、学習課題に主体的に取り組むことができる。また、自ら設定した課題にも主体的に取り組むことができる。級友と学び合うなど、他者と協働する意欲がある。			

観点別評価(%)						
	漢字テスト	活動報告書	課題達成率	挑戦課題		合計
知識・技能	100					100
思考・判断・表現		100				100
主体的に学習に取り組む態度			70	30		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	オリエンテーション	概要、評価標準など説明			
	漢字テスト、数学①	正負の数の計算 文字式の計算 方程式	○		○
	漢字テスト、数学②		○		○
漢字テスト、数学③	○			○	
5月	漢字テスト、数学④	漢字テスト、数学⑤	○		○
	漢字テスト、数学⑤		○	○	○
6月	頻出英単語、理科①	【物理・化学分野】 電流 力のはたらき 状態変化 化学変化	○		○
	頻出英単語、理科②		○		○
	頻出英単語、理科③		○		○
7・8月	頻出英単語、理科④	【地理・歴史分野】 地図と時差 地形図 日本の歴史	○	○	○
	漢字テスト、社会①		○		○
	漢字テスト、社会②		○		○
	漢字テスト、社会③		○		○
9月	到達度測定テスト	数学、理科、社会の振り返り	○		○
	頻出英単語、数学⑥	連立方程式	○		○
	頻出英単語、数学⑦		○		○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	頻出英単語、数学⑧	式の展開 因数分解	○		○
	頻出英単語、数学⑨		○		○
	頻出英単語、数学⑩		○	○	○
11月	漢字テスト、理科⑤	【地学・生物分野】 太陽とかけ 天気の変化 天体の動き 人のからだのつくり	○		○
	漢字テスト、理科⑥		○		○
	漢字テスト、理科⑦		○		○
12・1月	漢字テスト、理科⑧	【歴史・公民分野】 世界の歴史 日本国憲法 経済	○	○	○
	頻出英単語、社会⑤		○		○
	頻出英単語、社会⑥		○		○
	頻出英単語、社会⑦		○		○
2月	漢字テスト、数学⑪	平方根とその計算	○		○
	漢字テスト、数学⑫		○		○
3月	漢字テスト、数学⑬	2次方程式	○	○	○
	1年間の振り返り	振り返りシート		○	○